



東京名所平八景

海蔵寺乃
紅葉

季刊

水団連

一般社団法人 日本水道工業団体連合会

秋季号

2025

No. 165

シリーズ 森岡専務が行く!!

キラリと光る！ 躍動する水団連会員

毎号、各地で活躍される水団連会員にスポットライトをあて、歴史や沿革、企業理念、主要な製品・技術などを紹介します。

第29回

協和工業株式会社

＝滋賀県東近江市＝

協和工業(株)は、清水重一会長が1961年に滋賀県愛知郡湖東町（現・東近江市）で立ち上げた消火栓や空気弁などを開発・製造する専門メーカーです。当初は大手バルブメーカーの協力会社としてスタートしましたが、2002年から自社製品の開発に乗り出し、2003年に排気弁付地下式消火栓の販売を開始すると、これがヒット商品となりました。2008年にはカムレバーロック式水道用急速空気弁『カマンエア』を発表して話題となり、翌年には経済産業省の「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」に選定されるなど、新たな発想で求められる製品を作り上げるメーカーとしての地位を確立しています。

「キラリと光る！」の第29回は、滋賀県東近江市の本社工場を訪ねて、各種機器類の製造現場を見学させていただき、2001年の就任から会社を牽引してきた清水重信社長と、新製品の開発を手掛ける清水勝也専務取締役の

お二方にモノ作りの理念と取組み、将来展望についてお伺いしました。

○下請けからオンリーワン企業へ

ピーク時には年間5万台を数えた大手バルブメーカーからの発注が減少していく中、危機感を持った重信社長は自社製品の開発に乗り出します。それまでの製造技術の経験を活かして最初に作り上げたのが「急速空気弁内蔵型地下式消火栓」でした。しかし、「この製品は、究極の自己満足製品ともいえるもので、お客様の要望に応えるものではなかったのです。売れるわけはありません」と重信社長。そこから発想の転換を図り、最初のヒット商品となったのが「排気弁付地下式消火栓」です。

空気弁内蔵型の場合、多量排気・圧力下排気・吸気など多くの機能を備えていますが、営業に回ってみると「そこまでの機能は消火

栓に必要ない、圧力下排気があれば十分」との声が。そこで急速空気弁を圧力下排気みの排気弁に変更したところ、軽くて施工しやすく安価だと高い評価をいただきました。これを機に協和工業は市場や顧客が求めているニーズを捉え、それに基づいて製品開発を行うマーケットインの手法で「業界初の付加価値商品」の開発に注力し、現在では60を超える特許を取得しています。

○ユーザーからの提案と徹底した品質管理

協和工業の製品開発の基本は、構造がシンプルでメンテナンスが容易、そして安価であることですが、それ以上に大切にしているのがユーザーからの提案と徹底した品質管理です。「カマンエアはボルト締めになっていた空気弁を簡単に分解できないか、というお客様からの要望でカムレバー方式を開発しました。すると、こんなに簡単に分解できるなら、ここにマルチリング（町野口金）を付けて洗管に使えないかとか、管内調査や水圧測定に使えないか、応急給水栓が付けられないかといった様々な意見を頂きました。一つのアイデアの提案がいろいろな製品の開発につながりました」と勝也専務は振り返ります。また、重信社長からは「私どもでは多くの営業マンを雇っているわけではないので、製品そのも

のが営業マンなんです。付加価値を付けた規格準拠の製品を高い品質でお届けすることで、お客様からの信頼も厚くなり、それが口コミで広がってさらにお客様が増えるといったことを繰り返して今があります」とユーザーとの信頼関係が次のステップになっていることが伺えました。

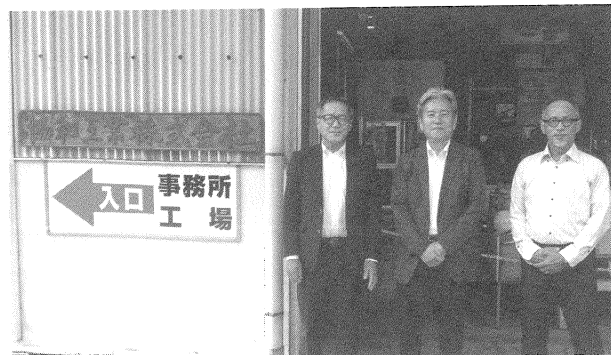
○業界初の製品で水道事業に貢献

また、生産体制も以前のような大量生産で多種多様な製品の在庫を抱えるやり方から、1カ月分の在庫は確保するものの、その月に売れた分だけを製造するという方式に転換しました。組立や水圧試験の工程も作業者の移動が最小限に抑えられる効率の良いラインに工夫されていて、ここにも独自のアイデアが活かされていると感じました。

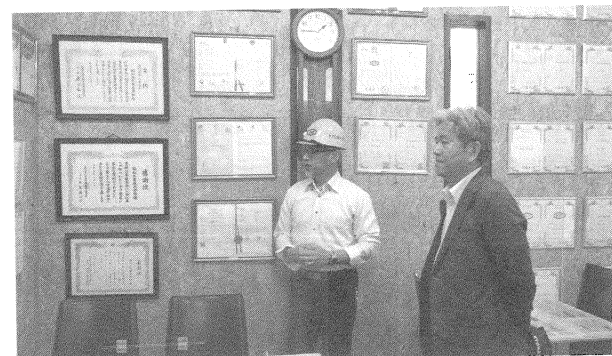


組立・試験エリアで製品の説明を受ける森岡専務

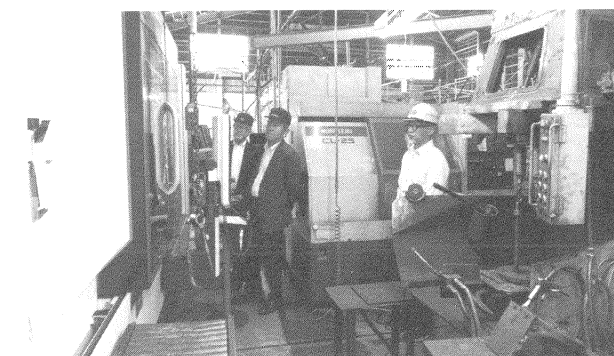
取材の最後に「これから先は水道事業体の職員も減り、限られた予算の中で維持管理をする時代になります。メンテナンスが楽にでき、安価な製品を提供することは私たちに与えられた使命だと考えています。そうした気持ちで大切にしながら、多くの方々の要望に応える会社として、今後もあり続けていきたいと思います」というお言葉をいただきました。業界初を創り出す協和工業にこれから先も大きな期待が寄せられています。



本社工場前で清水重信社長(左)、清水勝也専務取締役(右)と



事務所入口に掲げられた取得特許の数々



最新型のインテリジェント複合加工機を見学